



## 集中連載 第1回

# 部活動のいま

## 「地域部活動」～持続可能な部活動のために～

少子化、働き方改革など、近年部活動を取り巻く環境は大きく変わっています。その中で、当別町で新たに動いている部活動の取り組みについて、集中連載でお伝えします。

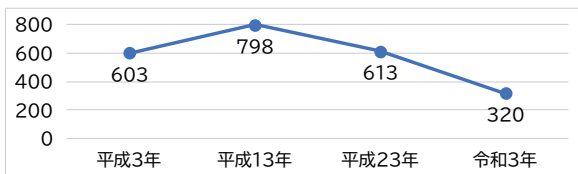
## 部活動を取り巻く状況

### 生徒数の減少により部活動の数も減少

当別町内の中学校の生徒数は、平成13年度の798人をピークに、令和3年度は320人まで減少しています。生徒数が減少すると部活動に所属する生徒が少なくなり、試合に必要な選手の数の確保が難しくなるなど、部活動を維持することが困難となります。

また、生徒数が少なくなると、それに伴い先生の数も減ります。顧問を担当できる先生には限りがあるため、必然的に部活動の数も少なくなってしまうます。

#### 町内中学校生徒数の推移



#### 現在の部活動 (令和3年度実績)

	当別中学校	西当別中学校
野球部	16名	8名
男子バスケットボール部	13名	4名
女子バスケットボール部	8名	7名
卓球部	19名	20名
陸上競技部	26名	19名
バレーボール部	なし	19名
剣道部	6名	なし
吹奏楽部	21名	なし
美術部	23名	15名

### 全国的な部活動改革の流れ

部活動は集団活動を通じた人間形成の機会や、多様な生徒が活躍できる場として、重要な役割があります。しかしながら、これまでの部活動は先生の献身的な勤務で成り立っており、長時間勤務や指導経験のない部活動の指導が大きな負担であることから、持続可能な部活動と、先生の負担軽減の両方を実現できる部活動改革が必要とされています。

その第一歩として、休日の部活動を段階的に地域に移行する「地域部活動」の取り組みを進めています。

#### 改革の方向性

- ・休日に教師が部活動の指導に携わる必要が無い環境を構築
- ・部活動の指導を希望する教師は、引き続き休日に指導を行うことができる仕組みを構築
- ・生徒の活動機会を確保するため、休日における地域のスポーツ・文化活動を実施できる環境を整備

#### 具体的な方策

- ・休日の部活動の段階的な地域移行 (令和5年度以降)  
休日の指導や大会への引率を担う地域人材の確保  
保護者の費用負担や国による支援、自治体による減免  
拠点校における実践研究
- ・合理的で効率的な部活動の推進  
他校との合同部活動の推進  
地方大会のあり方の整理

# 「地域部活動」への移行を検討

北海道では3つのモデルを示して、部活動の地域移行の可能性について検討しています。

教育委員会では今年度、NPO法人ふれ・スポ・とうべつとリーフラス株式会社に委託して、民間による外部指導者や地域人材活用の実証実験を行いました。

## 北海道が想定する3つのパターン

市町村を核とするアソシエーション(組織・団体)

市町村のスポーツ協会・文化協会

民間スポーツ(文化)クラブ・企業 **民間活用を実証実験**

令和3年度地域運動部活動推進事業による実証実験

当別町教育委員会

委託

ふれ・スポ・とうべつ × リーフラス

派遣

当別中学校 西当別中学校

専門の外部  
指導者を派遣

陸上部(当)

顧問の先生を地域人材として派遣

野球部(当・西当中)

バスケットボール部(当・西当中)

## 実際に指導に入っている陸上部取材しました

### 指導されているリーフラス株式会社の方からお話をうかがいました

#### 阿部さん(単中距離専門の陸上指導者)

私は中学2年から短中距離を専門に陸上を続けて、現在はリーフラスの小学生向けアスレチックスクールの指導者をしています。

指導の際、特に気をつけているのは、怪我のリスクです。競技を続けていると怪我がつきもので、私も学生時代、怪我で競技から離れた時期がありました。競技の専門家の視点で正しいフォームの指導をすることで、怪我のリスクを減らすことができます。生徒達には怪我をせず、楽しく競技を続けてもらえる指導を心掛けています。



実際にやってみせることが一番理解が早いです。指導中は生徒と一緒に走っています(阿部さん)



リーフラス株式会社  
(左) 瀬尾さん、(右) 阿部さん

#### 瀬尾さん(統括責任者)

11月から月に2回ほど練習を見ています。指導回数は多くありませんが、専門知識を活かし、練習メニューの調整を行っています。また陸上は種目によって専門性が異なるので、専門種目の異なる3名の指導者を交代で派遣しています。

私たちのような外部の指導者が入ることで、先生たちの負担を軽減する事が大事だと思っています。そのためには専門的な指導者の派遣のほか、地域人材の活用も必要になるため、今後は地域の指導者の育成も課題になると思います。

### 顧問の先生からお話をうかがいました

当別中学校に赴任して、初めて陸上部の顧問を任されました。今まで指導の経験が無かったので、自分たちで調べたり、他校の顧問の先生から練習方法を聞いたりして、試行錯誤で生徒たちの指導を進めていました。

専門の指導者が来てくれたことで、練習上の疑問点に明確な答えを出してもらえるので、生徒達のやる気がとても上がっています。練習の効果などわかりやすく解説してくれ、練習方法の動画も用意してもらっているので、私たちも勉強になり、毎日の練習にとっても役に立っています。



当別中学校陸上部顧問  
(左) 平田先生、(右) 大竹先生